

敬業

発行
社会福祉法人
敬業会
笠岡市有田1778番地
TEL (0865) 66-3605



「大空と大地のカーニバル」かさおかふれあい空港にて

理事長が交代して、間もなく一年になるうとしている。長安一郎初代理事長のもと、昭和五十六年五月に入所更生施設の運営を開始した敬業会は、その後、地域生活重視の流れのなかで、通所授産施設やグループホームの整備をすすめた。

江草安彦理事長の下では、重症心身障害児・者の通所事業を開始すると同時に、グループホームを増設して時代の要請に応えた。なかでも、平成二十三年三月に、笠岡市新賀の旧井笠農業普及指導センター実証班跡地を取得したことは、特筆すべきことであった。

取得前に現地を視察した江草理事長は、ひと目でその土地の魅力を見抜かれたようであった。理事長自らが「ときわヴィレッジ」と名付けたこの地に、翌年四月、「ヴィレッジ興産」を設置、障害をもつ人々の働く場として事業を開始した。

ときわヴィレッジは、広大であり、大きい可能性を秘めた土地である。江草理事長も様々な構想を思案されていたようであったが、残念ながら新たな事業展開を見ることなく逝去された。

敬業会は、田中二三一新理事長のもと、敬業会三十年余りの歴史の上に新たな時代を築こうとしており、まずは、ときわヴィレッジ活用のグランドデザインと同時に新たな事業を構想中である。

岡山県南西部において、障害をもつ人々の福祉の実現を図るために、「人間尊重」という理念掲げて発足したのが敬業会の原点である。理事長の交代を機に設立時の基本に立ち返り、「利用者満足」、「職員満足」、「地域満足」の実現を目指して、法人の力を結集して努力していきたい。

原点に帰る

常務理事 前田進作



日帰り旅行

兵庫 ときわ 太陽公園、白鳥城
香川 わかば 日本ドルフィンセンター 石丸製麺うどん工場見学
石丸製麺株式会社 2015年10月23日 工場見学記念
鞆の浦 ときわ通園センター 神勝寺温泉 昭和の湯で会食
姫路 ヴィレッジ興産 姫路市立水族館
鳴門 ワークほほえみ 海の幸パーベキュー
高知 ほほえみ矢掛 カツオの薫焼き体験

ウィンターコンサート 12月16日

「コールあまくさ」様の、素敵な歌声とサンタが現れるハプニング等、心あたたまる愉快な一時をありがとうございました。



皆様のおかげで 第二回ときわヴィレッジ祭開催 9月19日

好天に恵まれ、法人内事業所の皆と楽しい時間がすごせました。



ご寄附ありがとうございました
 [敬称略・順不同]

退職
 ○ほほえみ矢掛
 桑田多喜枝さん H27・12・31付

入所者
 ○わかば
 笠原 大貴さん H27・12・1付
 ○ほほえみ矢掛
 平石 眞美さん H27・12・1付

退所者
 ○わかば・ときわ共同生活支援事業所
 藤田 年紹さん H27・9・30付
 ○ワークほほえみ
 藤井 裕三さん H27・11・30付

ほほえみ家族会、襟立定夫、田村重夫、笹野正之、国際ソロプチミスト笠岡、小宮慶三、ちず子、坪川信一、浅口手をつなぐ育成会、社会福祉法人山陽新聞社会事業団

利用者のうごき

職員のうちぎ

利用者

計報

坪川 宏さんを偲んで

去る11月30日に坪川 宏さんがご逝去されました。
 坪川さんは、ワークほほえみ船穂で箱折り作業を頑張っておられました。大らかで楽しいお人柄で周囲を明るくしてくださいました。心よりご冥福をお祈りいたします。



理事会・評議員会からの報告

去る十一月十四日に平成二十七年第二回理事会・評議員会を開催し、事業の進捗状況や補正予算等を審議し承認しました。
 また、懸案の「ときわヴィレッジ」(笠岡市新賀地内)の整備についても協議し、近く具体化に向けた計画づくりに取りかかることとなりました。ご期待ください！

追悼写真展・パネルディスカッション開催

「江草安彦氏をしのぶ写真展」が昨年十月十六日から三十一日まで、笠岡市五番町のワコフアームで、笠岡市が主催し、旭川荘、天神会、ワコフスポーツ・文化振興財団、敬業会の共催で開催されました。
 敬業会関係者を含めて約四十人が出席して、オープニングセレモニーを開催しました。十七日には、同じ会場でパネルディスカッション「江草安彦先生とふるさと笠岡」を開き、前田進作・ときわ園長もパネリストの一人として参加し、江草安彦前理事長の功績を偲びました。



前田ときわ園長もパネリストとして参加



少年時代からの懐かしい写真が展示された会場

ワコフアームの新鮮野菜

平成二十七年二月より、毎週金曜日に、ワコフアームの新鮮なレタスをNPO法人笠岡を元気にする会を窓口でワコフアーム吉岡洋介社長のご好意により御寄贈いただいています。
 LED植物工場で栽培されたサラダ菜は、高齢になつた利用者の方も、やわらかいので安心して食べることができ、副食の添えものに使って、おいしくいただいています。
 例えばクリスマスランチで鶏のからあげや、魚のフライタルタルソースかけの添えものとして等、水耕栽培で農薬を使わない安心安全の野菜なのでそのままでも使えて便利です。
 ワコフアームの野菜はANA国際線ファーストクラスの機内食にも使われているとか。
 また、窓口のNPO法人笠岡を元気にする会の事務局の方には野菜の袋詰め等していただきました。本当にありがとうございました。



魚のフライとポテトサラダに添えて



新鮮野菜を手にする「ときわ」の利用者

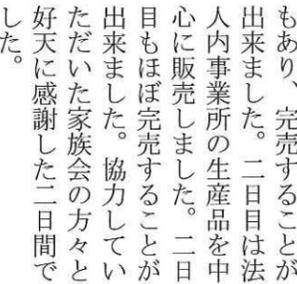
「秋から年末のバザーで収入アップ」

秋から年末にかけて、ヴィレッジ興産にとって収入アップの大事な時期で、バザーはほぼ毎月一店出しています。特に十一月は一日に三か所のイベントがあり、職員、利用者皆で対応しました。おかげさまで今年も何とか乗り切る事が出来安心しています。



「JA倉敷かさや農業祭バザー出店」

十月三十一日と十一月一日の二日間、JA倉敷かさや第十三回農業祭の会場にて、ときわ家族会チャリティーバザーが開催されました。一日目は笠岡ロータリークラブと、笠岡東ロータリークラブの方々に提供していたバザー品を中心に販売をいたしました。家族会の方々の協力もあり、完売することが出来ました。二日目は法人内事業所の生産品を中心に販売しました。二日目もほぼ完売することが出来ました。協力していただいた家族会の方々と好天に感謝した二日間でした。



「三位に入賞!!」

十一月八日(日)、くらしきフォーラムwith A B・1コンテストが、川崎医療福祉大学で開催されました。
 利用者さん達と一緒に参加し、菓子部門で、焼きたてのワッフルに、自家製ジャムとアイスクリームをトッピングして販売したところ、大盛況でした。来場者の投票によりみごとに三位に入賞しました。今後の活動への励みになりました。



ほほえみ矢掛

「ときわ家族会が作業奉仕」

平成二十四年、笠岡市新賀の地ときわヴィレッジがスタートして以来毎年六月と九月に、ときわ家族会の方々中心で草刈、せん定等の作業奉仕を実施しています。当初は、ときわヴィレッジの広大な敷地を前に手探りの状況でしたが回数を重ねるごとに作業もはかどるようになっていきました。作業奉仕で汗をかけた後は昼食会を開いています。「こんな物を作ってはどうか」「こんな場所になったらいい」等、ときわヴィレッジの将来像について活発な意見が交わされます。作業奉仕に携わる方々全員が今後も夢を描きながら続けていこうと思っています。



バザー・作業奉仕 皆様ご協力ありがとうございました